

歴史から教訓を得て、未来の知恵を学ぶ

ちほうそうせい きょうどきょういく

地方創生と郷土教育

目先の利益に捉われない、人材育成と人材発掘を目指す

ビッグデータ全記録 “デジタル版”



●PDFデータ/DVD-R版 全1巻 ◇価格 54,000 円+税

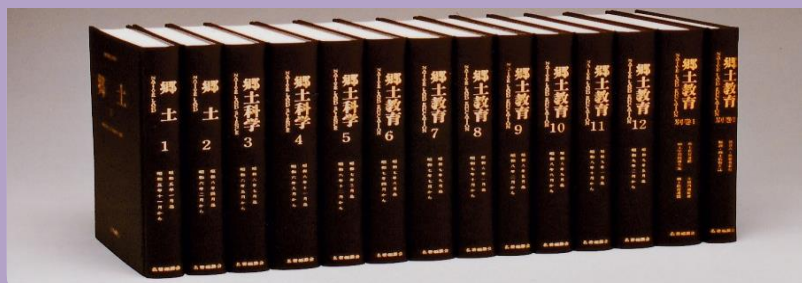
地方創生の手引書 PDFデータ 全1巻

日本唯一、国家を挙げて、全国の有識者を糾合し、先人達の“成功と失敗”の過去から学ぶ。

収録データ容量の内容
A5判・総頁数約7,300頁分の大容量

◎底本：郷土・郷土科学・郷土教育 全12巻+別巻2

◎体裁/A5判、上製、総頁数 7,400 頁、各巻平均 530 頁、書籍揃価格 168,000 円+税



◎底本：郷土・郷土科学・郷土教育 全12巻+別巻2

国家を挙げ、官民一体で取り組んだ人々の「地方創生」と「郷土教育」

その実践の全記録、先人達の“成功と失敗”から未来を学ぶ

◎監修・執筆/海老原治善(東京学芸大学教育学教授) 坂井俊樹(東京学芸大学助教授)

◇解説/①「郷土教育とはなにか」海老原 治善

②「郷土教育連盟の活動と教育実践」坂井俊樹

③「小田内通敏と郷土地理教育」木本 力(和光大学地理学教授) ※肩書当時ママ

◎解説・解題・執筆者索引・総目次付き ISBN978-4-89614-960-9 C3831 ¥54000E

私も推薦します 川野辺 敏 「歴史から学ぶことの重要性」(敬称略)

国立教育政策研究所名誉所員 星槎大学特任教授(元副学長)、日本教材学会会長

全国教育研究所連盟副委員長 元日本比較教育学会会長 元日本学習社会学会会長

大変な時代を迎えている。急速な少子化・高齢化の中で、多くの市町村では65歳以上の高齢者が4分の1をはるかに超え、46%が過疎化現象に直面している。市町村の消滅も現実味を帯び、再生への叫びが聞こえる。どう対応したらよいか？企業誘致・魅力ある地域づくり？—ここに過去から忘れられた貴重な資料が残されていた。大恐慌をまともに受けた昭和初期に、国家を挙げ、有識者を糾合して、考え・計画・実行し、地域再生に取り組んだ人々がいたのである。地方に生きる人間としてどうあるべきか、親から子にそれをどう継承したらよいかに取り組んだ先達だったのである。悩みも過ちもあったらしい。しかし、「過去を知らずして現在を論ずるなかれ」といった趣旨のワイツゼッカーの言葉がここでも響いてくるのである。

PDF データ/DVD-R 版の特色

◎A5判書籍換算 14 巻分(各巻平均 530 頁)の大容量 7,400 頁を収録!

“デジタル化”により、“利便性や実用性が大きく向上”

国が予算を出し、国家を挙げて取組んだ、我が国唯一の

「地方創生」と「郷土教育」のビッグデータ全記録!

- ◎デジタル版⇒
- 1 PDF の拡大・縮小機能、資料作成の複写(コピー)機能が大きく向上。
 - 2 DVD の頭出し検索機能により、閲覧内容の特化が容易。
 - 3 実用面でも保管場所・携帯などの簡易化、格段と充実。

■体裁/DVD-R 片面 1 層、ケース入り、解説・解題、執筆者索引、総目次、資料多数。

- 4 目先に捉われない、初等・中等教育場で、郷土教育による有能な人材育成や発掘を目指しました。
- 5 少子化・過疎化問題への郷土教育の具体的対策の実践例や考え方を紹介します。
- 6 農業や林業など経済から見た郷土教育の計画案や実践例で人材育成方法が考察できます。
- 7 官民一体で行なった、5 年間にわたる実践データの経験則から“成功と失敗”を理解する。
- 8 地方創生の土台となる教育実践や教材作成も具体的に提案、取り扱方も紹介しています。
- 9 分かり易い、地方創生の基本的な実践例の数々を紹介、人材育成教育の考え方も提言。
- 10 データ編集、史料編纂などの参考や手引としても、大変便利にご活用できます。



郷土教育研究協議大会

全国から集まった会員

▼会員の研究発表

藤田元春氏の講演▲

学校教育と郷土教育

校外学習授業風景

自然研究



●上段・神戸諏訪山における校外授業の風景。●下段・諏訪山の動物園において「ラクダ」に関して学習。何れも尋常一年生。

◎ご注文・お問合せ・・・

全国の書店様に、お申込下さい。

若しくは、当社へ直接お申込下さい。

※詳しくは、当社ホームページを閲覧下さい。

◇企画・編集・制作・著作 ©エムティ出版

MT/株式会社エムティ出版

HP <http://mt-syutupan.com>

◇国内配送料無料
◇一週間前後でお届け

◆主な内容(テーマ)と執筆者◆ (順不同・敬称略)

◎郷土教育論文総覧

※総執筆者延数659名余

- ◇郷土研究 38
- ◇郷土科学 8
- ◇郷土研究法 27
- ◇郷土調査 11
- 1、地域研究 21
- 2、集落研究 35
- 3、都市の研究 10
- ◇地理学研究
- 1、地理学一般 12
- 2、郷土地理 11
- 3、地理教育 6
- 4、農業地理 6
- ◇郷土史研究 9
- 1、土俗・民俗 14
- 2、郷土芸術 4
- ◇人口問題 11
- ◇特殊研究 3
- ◇教育一般論 63
- 1、郷土教育論 54
- A 郷土教育の実際 56
- B 教材の取扱 21
- 2、農村教育 20
- 3、補習教育 18
- 4、青年教育 11
- 5、生産・労作教育 14
- ◇教育景観 9
- ◇郷土博物館 6
- ◇農村問題 26
- ◇教育風土記 3
- ◇新教育風土記 3
- ◇日本経済風土記 3
- ◇環境論 14

- ◇児童研究 70
- ◇紀行・観察・思い出等 27
- ◇雑 15
- ◇小児科医学発達史
- 附西洋・日本教育年表
- ◇教育のための児童医学小辞典

◇主な執筆者

- 長谷川如是閑 小田内通敏
- 白鳥庫吉 赤井米吉
- 内田寛一 羽仁五郎
- 柿崎 純 佐々木 清二
- 長井 政太郎 渋沢栄一
- 堀江賢二 西村眞次
- 久保 久一郎 井下 清
- 海老原 幸 加藤一夫
- 日高利一 石橋 仁
- 東海林誠一 浅田芳郎
- 下田将美 三澤勝衛
- 新渡戸 稲造 辻 隆一
- 尾高豊作(郷土教育連盟代表)
- 清水 幾太郎
- 柳田國男
- 志垣 寛 篠原 栄太郎
- 喜多野清一 小野武夫
- 市川一夫 八田三郎
- フランシス・ルエラン
- 細谷俊夫 牧野 信之助
- 峯地光重 小川未明
- 波多野 完治
- 白井 正太郎
- 本田正信 茂木威一
- 棚橋 源太郎

(他約 450 人)

◆主な章目次の内容◆

- 1. 口絵
 - 2. 一般論
 - 3. 郷土研究
 - 4. 地方研究
 - 5. 紀行・随筆
 - 6. 特殊研究
 - 7. 民俗・土俗・その他
 - 8. 抄訳
 - 9. 郷土教育
 - 10. 雑集
- 総頁数 930頁余
- 写真・口絵 87点余
- 地図・図説 103点余
- 統計図・表 38点余

■「郷土」第1号〜6号



郷土教育連盟代表

尾高豊作氏

- 1. 口絵
 - 2. 一般論
 - 3. 郷土研究
 - 4. 地方研究
 - 5. 都市研究
 - 6. 人文
 - 7. 郷土教育
 - 8. 地理・地理教育
 - 9. 郷土芸術
 - 10. 郷土史
 - 11. 動物地理・特殊研究
 - 12. 民俗・土俗
 - 13. 紀行・随筆・その他
 - 14. 抄訳
 - 15. 雑集
- 総頁数 1700頁余
- 写真・口絵 73点余
- 地図・図説 106点余
- 統計図・表 66点余

■「郷土科学」第7号〜12号

- 1. 講演
 - 2. 会員研究発表
 - 3. 郷土教育研究特集
 - 八月号・地域研究特集
 - 1. 口絵
 - 2. 環浜名湖地域の共同研究
- 総頁数 300頁余

- 1. 口絵
 - 2. 巻頭言
 - 3. 一般論
 - 4. 集落の研究
 - 5. 新日本風土記
 - 6. 郷土調査
 - 7. 郷土誌史研究
 - 8. 郷土教育
 - 9. 教材研究
 - 10. 抄訳
 - 11. 自然研究
 - 12. 近代工業と都市教育
 - 13. 民俗・土俗
 - 14. 満洲を觀る
 - 15. 会報・紀行・雑集
 - 16. 郷土教育の動向
 - 17. 教育施設
 - 18. 地域研究
 - 19. 地方研究
 - 20. 地域教育
 - 21. 随筆
 - 22. 雑集
 - 23. 郷土は移る・磁力更生是非
 - 24. 教材研究教育風土記
 - 25. 児童研究・レポート・論説
- 写真・口絵 70点余
- 地図・図説 130点余
- 統計図・表 370点余
- 総頁数 3400頁余

■「郷土教育」第13号〜第43号

■別巻2巻

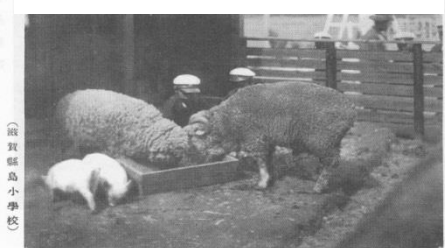
総頁数 960頁余

- 第1巻目
- 1. 郷土学習指導方案
- 郷土教育連盟
- 2. 郷土教育運動
- 小田内 通敏
- 第2巻目
- 1. 解説①郷土教育とは何か
- 海老原 治善
- 2. 解説②郷土教育連盟の活動と教育実践
- 坂井俊樹
- 3. 解説③小田内通敏と郷土地理教育
- 木本力
- 4. 総目次
- 5. 執筆者索引

▼「郷土教育」の風景・口絵見本 (滋賀県島小学校内)



▲その1



▲その2

◇執筆者索引・内容見本◇

259 「郷土」「郷土科学」「郷土教育」執筆者索引

〈例〉(1-3-23) 1-復刻の巻数, 3-原本の通巻号数, 23-原本の頁数。
(復刻第1巻目の雑誌第3号の23頁目)

- 「郷土」第1巻=1号〜3号
- 第2巻=4号〜6号
- 「郷土科学」第3巻=7号〜9号
- 第4巻=10号〜13号
- 第5巻=14号〜17号
- 「郷土教育」第6巻=18号〜21号
- 第7巻=22号〜23号 (5月臨時号・8月臨時号含む)
- 第8巻=24号〜27号
- 第9巻=28号〜31号
- 第10巻=32号〜35号
- 第11巻=36号〜39号
- 第12巻=40号〜43号

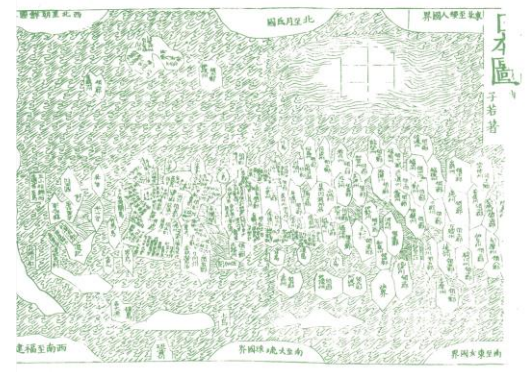
- 【あ行】
- R・N・R (12-41-15)
- 青木實三郎 島根県馬木小学校 (3-9-66)
- 青木誠四郎 東京大学 (1-1-138, 2-5-61, 11-38-23)
- 青鹿四郎 帝国農会 (4-11-59, 4-12-23, 7-23-1)
- 赤井米吉 明星学園長 (1-2-29, 2-5-10, 3-8-84, 3-9-12, 4-10-115, 4-12-117, 4-13-181, 5-14-119, 6-19-49, 8-25-73, 7-臨20-36, 11-38-17, 12-40-43)
- 赤松克彦 (9-28-53)
- 赤山清 香川県四海小学校 (11-39-90)
- 秋葉隆 京城帝大 (2-6-99)
- 秋葉勇次郎 茨城県水戸師範 (2-6-74)
- 浅井治平 東京市第一中学校 (6-20-16)
- 浅黄俊次郎 (11-38-51)
- 浅田芳郎 (5-16-59)
- 浅野研眞 新興教育研究所 (2-5-98, 4-13-143, 8-27-38)
- 芦田伊人 酒井家史料編纂部 (2-6-35, 4-12-10)
- アッカン博士 (8-27-38)
- 安倍能成 京城帝大 (1-2-65)
- 有高巖 東京高等師範 (6-18-2)
- 有元久五郎 埼玉師範学校長 (8-25-15)
- 安藤正男 岡山県高月村 (11-39-98)
- 五十嵐幸雄 山形師範 (11-37-70)
- 井黒彌太郎 北海道近出小学校 (1-2-61, 3-8-44, 5-15-50, 9-29-2)
- 池本喜三夫 (12-40-31)
- 伊佐田甚蔵 島根県成徳小学校 (6-19-75)
- 石川栄耀 都市計画名古屋地方委員会 (2-4-13, 4-10-27, 4-11-99)
- 石川謙 法政大学 (4-13-52)
- 石川千代松 理学博士 (5-14-2)
- 石黒魯平 (5-16-55)
- 石澤健夫 農林省 (5-15-40)
- 岩崎鴻治 (11-39-38)
- 石田恭吾 山形県立庄内農学校長 (11-37-81)
- 石田利作 名古屋市南久屋小学校長 (7-23-55)
- 石田龍次郎 東京商大 (3-8-2, 3-9-121, 4-10-61, 4-11-105, 4-13-135, 4-13-172, 8-27-38)
- 井下清 (9-31-63)
- 石野瑛 神奈川県史蹟調査委員 (5-14-66)
- 石橋仁 (11-39-22)
- 石橋幸雄 帝国農会副参事 (3-8-62, 11-36-22)
- 石原純 (9-29-45)
- 石本巳四雄 東京大学 (3-8-166)
- 磯野親男 栃木師範附属小 (6-20-42)
- 板井申生 農林省 (2-4-41, 2-5-67)
- 板垣新太郎 山形県東田川郡泉小学校長 (11-37-79)
- 板垣廣徳 (1-1-122)
- 板澤武雄 (1-1-74)

- 【い行】
- 飯田義治 神奈川県渋谷小学校 (3-9-93)
- 五十嵐昌平 新潟市湊小学校 (7-臨20-66)

郷土

育教と究研

創刊号



◇創刊号・表紙見本◇